

PORTS  
OF  
OSAKA  
PREFECTURE



大阪府の  
みなと

TOPICS

- 第38回大阪府地方港湾審議会開催 ..... 1
- 堺第7-3区共生の森・(株)長谷工コーポレーションとの森づくり共同宣言 ..... 1
- 南海トラフ巨大地震の災害想定 ..... 2
- 「みなとオアシスみさき」が近畿みなとオアシスに仮登録されました ..... 4
- 第2回深日港活性化イベント深日港フェスティバル開催 ..... 5
- アドブ・シーサイドプログラムのご紹介～平成25年度認定第1号第13弾「アドブ・シーサイド堺浜」 ..... 6
- 泉大津フェニックスで野外コンサート開催 ..... 6
- 第7回「カンカンキッズ」実施 ..... 7

EVENT

- 第13回Eポート交流大会(きららカップ)を開催しました ..... 8
- 第61回岸和田港まつり開催 ..... 8
- 堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました ..... 9

PORT NEWS

- WELCOME!世界からのお客様 ..... 9
- ようこそ大阪府営港湾へ～初入港のご紹介～ ..... 9

INFORMATION

- 創立50周年記念 第64回理事会・平成25年度通常総会 ..... 10
- 大阪府知事・大阪府港湾局長感謝状贈呈式 ..... 11
- 運営委員会 ..... 11
- 平成25年度港湾視察～横浜港～ ..... 12

2013.10  
No.105

## TOPICS

- 第38回大阪府地方港湾審議会開催 ..... 1
- 堺第7-3区共生の森・榎長谷工コーポレーションとの森づくり共同宣言 ..... 1
- 南海トラフ巨大地震の災害想定 ..... 2
- 「みなとオアシスみさき」が近畿みなとオアシスに仮登録されました ..... 4
- 第2回深日港活性化イベント深日港フェスティバル開催 ..... 5
- アドブトシーサイドプログラムのご紹介～平成25年度認定第1号第13弾「アドブトシーサイド堺浜」 ..... 6
- 泉大津フェニックスで野外コンサート開催 ..... 6
- 第7回「カンカンキッズ」実施 ..... 7

## EVENT

- 第13回Eボート交流大会(きららカップ)を開催しました ..... 8
- 第61回岸和田港まつり開催 ..... 8
- 堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました ..... 9

## PORT NEWS

- WELCOME!世界からのお客様 ..... 9
- ようこそ大阪府営港湾へ～初入港のご紹介～ ..... 9

## INFORMATION

- 創立50周年記念 第64回理事会・平成25年度通常総会 ..... 10
- 大阪府知事・大阪府港湾局長感謝状贈呈式 ..... 11
- 運営委員会 ..... 11
- 平成25年度港湾視察～横浜港～ ..... 12

～「大阪府のみなと」へのご意見・ご感想をお寄せください～

大阪府港湾協会では「大阪府のみなと」への皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。  
郵便、FAX、E-mailのいずれかの方法で、どうぞお気軽にお寄せください。

住所：〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1 堺泉北港ポートサービスセンタービル10階  
FAX：0725-21-7259 E-mail：o-kyoukai@circus.ocn.ne.jp



# T O P I C S

トピックス

## 第38回大阪府地方港湾審議会開催

平成25年6月13日(木)、大阪府庁本館正庁の間にて、第38回大阪府地方港湾審議会(会長 黒田勝彦・神戸大学名誉教授)を開催しました。

堺泉北港堺2区(堺市)において、平成22年4月に開業したサッカーナショナルトレーニング施設「J-GREEN堺」を拡張するため、工業港区の一部を無分区に変更する議案を提案し、同審議会です承されました。

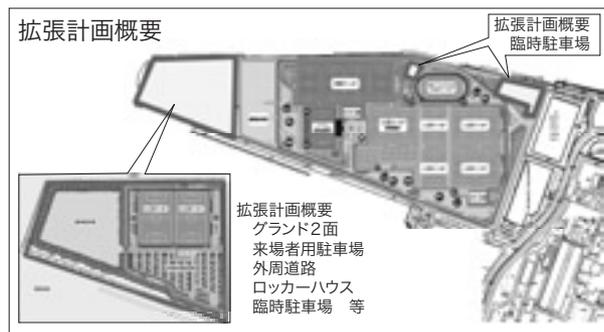
無分区とは、「港湾を一体的に管理運営する必要性から臨港地区に含める必要があるが、相当程度の一般的都市機能を有する土地利用に対応して分区を定めない区域」であり、今回の工業港区からの変更により、臨海部の土地の有効活用を目的として、スポーツレクリエーション拠点整備を推進していきます。

同施設は、今年4月に文部科学省からナショナルトレーニングセンター強化拠点に指定されたほか、日本サッカー協会から面数増設の要請が出されていました。

拡張計画では、現在14面あるサッカーピッチを2面増設するのをはじめ、来場者用駐車場、外周道路、ロッカーハウス、臨時駐車場などを整備する予定です。

同審議会終了後、必要手続きを行い、8月1日に分区変更の告示を行いました。

### 大阪府港湾局計画調整課計画グループ



# 堺第7-3区共生の森・(株)長谷工コーポレーションとの森づくり共同宣言

## 大阪府港湾局計画調整課計画グループ

(株)長谷工コーポレーションと大阪府港湾局は、平成25年6月20日(木)、堺泉北港ポートサービスセンタービルの港湾局長室において、「堺第7-3区共生の森づくり共同宣言」の調印式を行いました。

堺第7-3区共生の森では、府民、NPO、企業等と協働で森づくりを進めていますが、平成21年に住友ゴム工業(株)、平成22年に西日本電信電話(株)と協定を結び、企業による森づくりを推進してきましたが、(株)長谷工コーポレーションは3社目となります。

今後、(株)長谷工コーポレーションは5年にわたり、5,000㎡の植樹活動や管理を行う計画です。またCSR活動の一環として、毎年、社員やその家族とともに環境に関するイベント等も併せて開催し、楽しみながら環境意識を高めることができるよう活動を推進していく予定としています。



# 南海トラフ巨大地震の災害想定

今年8月、大阪府は新津波シミュレーションによる浸水想定図等を公表しました。この結果は、国の中央防災会議の南海トラフ巨大地震の検証結果を踏まえて、精緻に計算されたものです。その内容について報告させていただきます。

国の南海トラフ巨大地震モデル検討会が公表した想定震源断層域(図1参照)を用い、大阪府域の震度分布、液状化の可能性、津波の高さ、浸水想定図等を算出しています。想定震源断層域については、現在考えられる最新の知見の集積を基に想定されているものです。

図1 南海トラフ巨大地震の新たな想定震源断層域



地震の規模(確定値)

	南海トラフの巨大地震(強震断層域)	南海トラフの巨大地震(津波断層域)	2011年 東北地方太平洋沖地震	2004年 スマトウ島沖地震	2010年 チリ沿岸地震	中央防災会議(2003) 津波断層域
面積	約11万km <sup>2</sup>	約14万km <sup>2</sup>	約10万km <sup>2</sup> (約500km×約200km)	約18万km <sup>2</sup> (約1200km×約150km)	約6万km <sup>2</sup> (約400km×約140km)	約6.1万km <sup>2</sup>
モーメント マグニチュード Mw	9.0	9.1	9.0 (気象庁)	9.1 (Ammon et al., 2005) [9.0 (理科年表)]	8.7 (Pulido et al., in press) [8.8 (理科年表)]	8.7

市区町村別の震度分布については、表1のとおりです。国の公表結果(H24.8.29)に比べて震度6強が泉南市、阪南市、岬町の3市町のみとなっております。これは国が用いた地盤モデルと比較して、大阪府域の浅い部分の地盤が相対的に固いことが影響していると考えられます。震度6弱の揺れでは、立っていることが困難であり、固定していない重い家具の多くが動いたり転倒したりします。また、かなりの建物で、窓ガラスが割れたり、壁のタイルが剥がれ落ちたりします。さらに震度6強では、立っていることができず、はわないと動くことができません。このような揺れに大阪府全域が襲われると想定されます。

液状化の可能性については、図2をご

参照ください。液状化の発生しやすい場所としては、一般的に臨海部で埋め立てが行われた地域、河川堤防の沿岸地域、過去、湿地、水田、河川の流路であったところを盛土造成された地域等が挙げられます。大阪府域でも、臨海部の埋め立て地、淀川の

河川堤防沿い、流れ込む河川の堆積土砂により形成された大阪市内地域等、広い範囲で液状化の可能性が高いことがわかります。

次に、津波の高さ(図3最大津波水位予測図参照)及び津波浸水想定(図4大阪府津波浸水想定(全体図)参照)についてです。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な津波被害を受け、内閣府中央防災会議専門調査会では、新たな津波対策の考え方を「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会報告」(H23.9.28)に示しており、この中で今後の津波対策を構築するにあたっては、基本的に二つのレベルの津波を考える必要があるとされています。

一つは、住民避難を柱とした総合的防災対策を構築する上で想定する「最大クラスの津波」で、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波です。もう一つは、海岸堤防などの構造物によって津波の内陸への浸入を防ぐ海岸保全施設等の建設を行う上で想定する「比較的発生頻度の高い津波」で、最大クラスの津波に比べて発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波です。

この「最大クラスの津波」の到達が、朔望平均満潮時に重なると想定し、津波浸水想定図は作成されています。また、防潮堤等は液状沈下する可能性があるため、大阪府防災会議に設置した「南海トラフ巨大地震土木構造物耐震対策検討部会」により検討された地震時の沈下量を考慮しています。さらに、水門、陸閘が閉められな

[ ]は、国公表資料(H24.8.29)

表1 市区町村別の最大震度

市区町村名	最大震度	市区町村名	最大震度
大阪市都島区	6弱 [6強]	高槻市	6弱 [6強]
大阪市福島区	6弱 [6弱]	貝塚市	6弱 [6弱]
大阪市此花区	6弱 [6弱]	守口市	6弱 [6弱]
大阪市西区	6弱 [6強]	枚方市	6弱 [6強]
大阪市港区	6弱 [6弱]	茨木市	6弱 [6強]
大阪市大正区	6弱 [6弱]	八尾市	6弱 [6弱]
大阪市天王寺区	6弱 [6弱]	泉佐野市	6弱 [6強]
大阪市浪速区	6弱 [6弱]	富田林市	6弱 [6弱]
大阪市西淀川区	6弱 [6弱]	寝屋川市	6弱 [6強]
大阪市東淀川区	6弱 [6強]	河内長野市	6弱 [6弱]
大阪市東成区	6弱 [6強]	松原市	6弱 [6弱]
大阪市生野区	6弱 [6弱]	大東市	6弱 [6強]
大阪市旭区	6弱 [6強]	和泉市	6弱 [6弱]
大阪市城東区	6弱 [6強]	箕面市	6弱 [6弱]
大阪市阿倍野区	6弱 [6弱]	柏原市	6弱 [6弱]
大阪市住吉区	6弱 [6弱]	羽曳野市	6弱 [6弱]
大阪市東住吉区	6弱 [6弱]	門真市	6弱 [6強]
大阪市西成区	6弱 [6弱]	摂津市	6弱 [6強]
大阪市淀川区	6弱 [6弱]	高石市	6弱 [6弱]
大阪市鶴見区	6弱 [6弱]	藤井寺市	6弱 [6弱]
大阪市住之江区	6弱 [6弱]	東大阪市	6弱 [6強]
大阪市平野区	6弱 [6弱]	泉南市	6強 [6強]
大阪市北区	6弱 [6強]	四條畷市	6弱 [6弱]
大阪市中央区	6弱 [6弱]	交野市	6弱 [6弱]
堺市堺区	6弱 [6弱]	大阪狭山市	6弱 [6弱]
堺市中区	6弱 [6弱]	阪南市	6強 [6強]
堺市東区	6弱 [6弱]	島本町	6弱 [6強]
堺市西区	6弱 [6弱]	豊能町	6弱 [6弱]
堺市南区	6弱 [6弱]	能勢町	5強 [5強]
堺市北区	6弱 [6弱]	忠岡町	6弱 [6弱]
堺市美原区	6弱 [6弱]	熊取町	6弱 [6弱]
岸和田市	6弱 [6弱]	田尻町	6弱 [6強]
豊中市	6弱 [6強]	岬町	6強 [6強]
池田市	6弱 [6弱]	太子町	6弱 [6弱]
吹田市	6弱 [6強]	河南町	6弱 [6弱]
泉大津市	6弱 [6弱]	千早赤阪村	6弱 [6弱]

かった場合を想定しています。

津波浸水想定は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項(知事は、最大クラスの津波を想定して、その津波があった場合に想定される浸水の区域及び水深を設定すること)に基づいて設定しています。これは、市町村のハザードマップ作成や津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害の発生範囲を決定するものではありません。また、一定の条件を設定し計算した結果のため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではありません。「最大クラスの津波」は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定したものであり、千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低いものですが、これよりも大きな津波が発生する可能性が無いというものではありません。このため、浸水域が拡大する可能性を内陸への‘矢印’で示しています(図4参照)。津波の第一波により家屋が流失した場合、第二波は抵抗が少なくなるため、浸水が広がる可能性もあります。着色されていない区域であっても避難は必要です。揺れがおさまったら、すぐに避難を開始し、津波警報や避難勧告が解除されるまでは、避難を継続する必要があります。また、大阪市内の地下街や地下駐車場におられる方々は、速やかに地上に出るだけでなく、3階以上の堅固な建物へ一時避難することが必要です。



浸水想定を国の公表結果(H24.8.29)と比較しますと、大阪府がまとめた結果の方が浸水想定範囲が大きくなっております。浸水深1cm以上となる浸水面積は、国が公表した最大浸水面積3,050haとなっているのに対して、今回の府の検討結果では約11,100haと、約3.6倍となっております。理由としましては、大阪府では地震時による防潮堤の沈下や、水門、陸閘が開いている状態等きめ細かく考慮したことから、浸水するエリアが広がったためと考えています。

今回の南海トラフ巨大地震による災害想定を受けて、防潮堤を始めとする港湾構造物、河川構造物、道路構造物及び下水道施設等の土木構造物についての対策については、前述した「南海トラフ巨大地震土木構造物耐震対策検討部会」により、検討を行っています。これからも大阪府港湾局の防災対策にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

図3 最大津波水位予測図(OP表示に変換するためには、1.3mを加えてください)

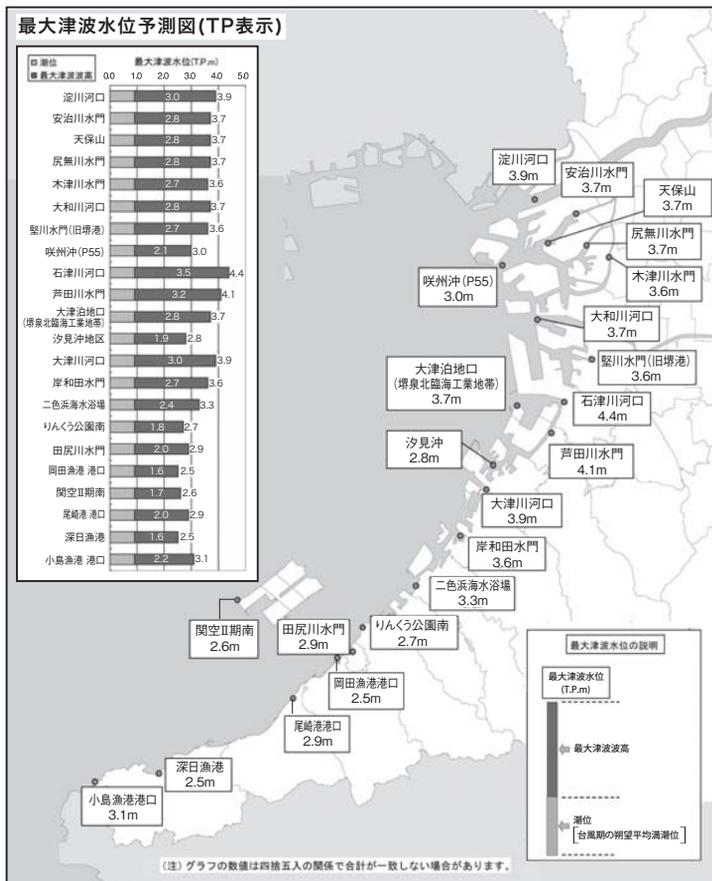
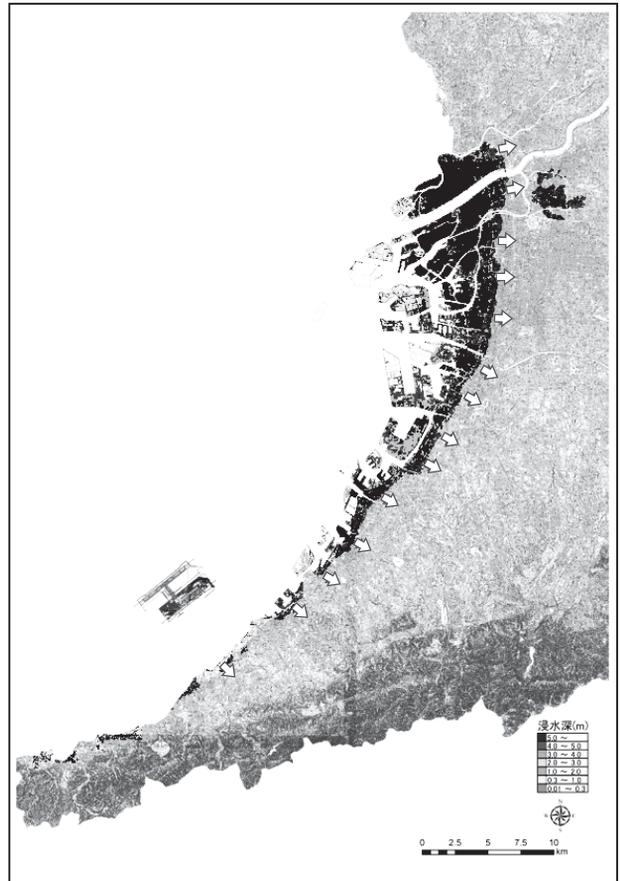


図4 大阪府津波浸水想定図(全体図)



# 「みなとオアシスみさき」が近畿みなとオアシスに仮登録されました

岬町

平成25年8月25日、岬町にある大阪府営せんなん里海公園内の国内唯一の常設ビーチバレーコート「潮騒ビバレー内」で仮登録式が執り行われました。

仮登録式は、8月22日から開催されていた第24回全日本ビーチバレー女子選手権大会の最終日、表彰式前に行われました。本大会は、平成2年から毎年開催されており、岬町の夏の風物詩となっています。当日は、あいにくの雨天でしたが、登録式開始に合わせたかのように雨が上がり、国土交通省近畿地方整備局港湾空港部長の成瀬英治氏から仮登録通知書が、同大阪港湾・空港整備事務所長の中本隆氏から「みなとオアシス」のロゴマークが田代堯岬町長に手渡されました。

「近畿みなとオアシス」とは、地域を振興させる取り組みに継続して活用されているみなとの施設や空間を国土交通省近畿地方整備局が「みなとオアシス」として登録する制度で、今回仮登録された「みなとオアシスみさき」は、大阪府内で初めての「近畿みなとオアシス」となる予定です。

岬町には、かつて四国や淡路島への玄関口として栄えた深日港と、ヨットハーバーを有し、海洋レジャーの拠点となっている淡輪港の2つの地方港湾があり、「みなとオアシスみさき」は、深日港から淡輪港までの区間とその周辺にまたがっています。

このエリアには、ふれあい漁港、魚市場、長松自然海浜、淡輪ヨットハーバー、大阪府立青少年海洋センター、マリンロッジ海風館、淡輪海水浴場(ときめきビーチ)、せんなん里海公園・潮騒ビバレーなどの観光資源が集中しています。特に“長松自然海浜”は、大阪府内で唯一の自然海浜として、“せんなん里海公園・潮騒ビバレー”は、日本で唯一、世界に二つしか存在しない常設型ビーチバレーコートとして、また、全日本ビーチバレー女子選手権大会が毎年開催される場所として有名です。

「みなとオアシスみさき」では、年間を通じて多くのイベントや活動が行われており、毎年多くの人々が訪れます。特に夏はマリニイベントが多いほか、たくさんの海水浴客が訪れることもあり、一年のうちで最も賑わいます。

岬町は、これらの観光資源を活用して、関西国際空港を起点に大阪湾を南まわりに一周する観光ルートの確立を目指しており、「みなとオアシスみさき」は、この目的を大きく進める役割を担うと考えています。

現在、「長松自然海岸を関西国際空港が一望でき、夕陽の絶景が楽しめる散策道やサイクリングロードに位置付ける」、「深日港にイベントヤードや観光案内・情報発信機能を有する休憩施設等を整備する」等の観光に関する構想があり、今後はこれらの構想の実現に向けて検討を進める予定です。

また、防災・減災に関しては、大阪湾の入口に位置し、津波発生時の波高が低いという深日港の地理的特性を活かして、大阪湾内外の広域的な防災・減災拠点にするという構想があり、こちらも実現に向けて検討を進める予定です。

現時点では、仮登録のみなとオアシスを実現するには、多岐にわたる取り組みを同時に進めていく必要があります。今後、関係機関や関係団体等と協議や調整を進め、「みなとオアシスみさき」を実現し、みなとや周辺施設等を連携させることで周辺地域を活性化させ、岬町全体の賑わいの創出を目指していきます。



## 第2回深日港活性化イベント深日港フェスティバル開催

岬町まちづくり戦略室

岬町では、かつて、南大阪と四国・淡路島を結ぶ交通の要衝として賑わいを見せた深日港の活性化を図るため、昨年より深日港活性化イベントを開催しています。

今年も6月30日(日)に深日港を会場として、陸上イベントや株式会社ジョイポート南淡路が所有する「うずしお観光船日本丸」をチャーターした海上イベントを開催し、約3000名の方にご来場いただきました。

昨年のイベントでは、台風の影響で海上イベントはすべて取りやめとなりましたが、今年は梅雨の晴れ間の好天に恵まれ、淡路島日帰りツアー、大阪湾ミニクルーズ、日本丸の船内見学会といった海上イベントも無事に開催することができました。およそ20年ぶりに旅客船が深日港に入港し、汽笛とともに出港する姿を見て、会場にお越しいただいた多くの方がかつての深日港の賑わいを懐かしく思い起こしておられました。

当日、会場で受付を行った大阪湾ミニクルーズには、早朝から多くの方が並ばれ、受付開始とともに募集定員(450名)がほぼ一杯となる大盛況で、約半数の方が岬町外からのご参加の方でした。また、船内で実施したアンケートでは、ご参加いただいた8割の方から、ミニクルーズに「満足」という結果をいただき、身近に海がありながら、なかなか船に乗る機会がなく、次回もこのようなイベントを是非開催してほしいとの多くの意見をいただきました。

陸上イベントでは、町内団体のパフォーマンスや淡路島・地元の物産を販売する店舗が出店し、賑わいをみせました。また、近い将来の発生が懸念される東南海・南海地震への啓発として陸上自衛隊信太山駐屯地第37普通科連隊の防災活動展示や大阪府岸和田土木事務所の耐震啓発、国土交通省近畿地方整備局、大阪府港湾局の港湾関連の展示コーナーなどを出展いただき、大阪府港湾局のブースでは、大阪府港湾協会さんに作成いただいた岬町のマスコットキャラクターがデザインされたうちわに人気が集まりました。

昨年は、陸路でお越しいただいた洲本市の竹内市長をはじめ、洲本市議会関係者の皆さんを海路でお迎えし、地元選出の国会議員、国土交通省、大阪府の来賓の方々にも多数ご参加いただき、深日港の活性化や洲本市との交流などについて意見交換をいたしました。

今回、海上イベントにご参加いただいた皆さんに行ったアンケートでは、航路復活に向けたご意見を多数いただくとともに、8割以上の方から災害時における港の役割の重要性についてのご意見をいただきました。今後は、深日港の活性化への取り組みとともに、災害への対応の観点からも深日港の役割をアピールしてまいりたいと考えております。

今年も大阪水上警察署泉州警備派出所警備艇に海上警備をいただくなど、多くの皆さまのご協力を得て、事故なく無事にイベントを開催することができました。至らぬ点も多々あったかと思いますが、ご協力を賜りました各関係機関の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、今後も深日港の活性化のためにご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## アドプト・シーサイド・プログラムのご紹介～平成25年度認定第1号!第13弾「アドプト・シーサイド・堺浜」

### 大阪府港湾局経営振興課施設運営グループ

大阪府港湾局では、一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア『CIFER』の皆さまを、13番目のアドプト・シーサイド『アドプト・シーサイド・堺浜』として、9月11日に認定いたしました。

CIFERの皆さんは、堺市唯一の砂浜「堺浜自然再生ふれあいビーチ」に流れ着いた流木や生活ごみ等の回収活動に、今後積極的に取り組んで下さる予定です。

今年度は、10月にも、堺泉北港泉大津地区の岸壁を数カ所清掃範囲とする『アドプト・シーサイド・さらの海を守る会』の認定を控えるなど、「笑働」の輪は着実に広がっております。

今後も府民の皆さまと一緒に、海岸・港湾環境の保全に取り組んでいきたいと思っております。ご協力よろしく申し上げます。



# 泉大津フェニックスで野外コンサート開催

## 大阪府港湾局経営振興課開発調整グループ

港湾局では、堺泉北港におけるにぎわいづくり、また泉大津フェニックスの知名度向上を目的として、平成17年から野外コンサートを誘致・開催しています。

9年目となる今年は、下記の2公演(3日間)が開催され、全国から約5万人の観客が集まり、大きな盛り上がりを見せました。

### 「RUSH BALL 15th」(2日間開催)

平成25年 8月 31日(土) 来場者数:約20,000人

平成25年 9月 1日(日) 来場者数:約20,000人

### 「OTODAMA' 13～音泉魂～」

平成25年 9月 7日(土) 来場者数:約8,200人

#### コンサート会場の様子

OTODAMA' 13～音泉魂～



RUSH BALL 15th



# 第7回「カンカンキッズ」実施

## 港緑振興会

岸和田旧港地区港緑町の関係企業、団体で構成する港緑振興会は、夏休みの子供たちを対象に「カンカンキッズ」と銘打って社会貢献の一環として、社会見学イベントを平成25年8月26日(月)に実施しました。

旧港地区の商業施設の裏側を見学・体験するイベントとして、36名の子供たちが参加し、普段目に見ることができない施設内部の見学や海上保安庁の巡視艇「あやめ」に体験乗船しました。



### 港緑振興会会員施設(5施設)

- ・岸和田市立浪切ホール [文化施設]
- ・岸和田カンカンベイサイドモール [商業施設]
- ・イズミヤ [商業施設]
- ・ユナイテッド・シネマ岸和田 [映画館]
- ・アクアテラス・リヴァージュブラン [結婚式場]

後援：大阪府港湾局・岸和田市・岸和田市教育委員会・岸和田商工会議所

協力：岸和田ウォーターフロント連絡協議会・海上保安庁第五管区海上保安本部岸和田海上保安署・財団法人海上保安協会岸和田支部・阪南港港湾振興連絡協議会

## 見学レポート



### 海上保安庁岸和田海上保安署による救助の実演

川で溺れた時にクーラーBOXやペットボトルで救助できる方法を教えていただきました。



### イズミヤの食肉加工の見学

イズミヤのバックヤードで、お肉が自動計量され、包装される様子を見学しました。



### 浪切ホールの舞台見学

劇場の舞台上立ち舞台機構などの説明を受け、照明変化や幕の下り様子などを見せていただきました。また、楽屋の見学もできました。



### リヴァージュブラン

チャペルで模擬結婚式を見せていただき、ウェディングドレスの新婦さんと記念撮影。



### ユナイテッド・シネマ岸和田

映画館定番スナックポップの出来る様子をマシーン前で見学。また、映写室に入り、映写機やフィルムの実物を見ることができました。



### 体験航海

岸和田港より海上保安庁巡視艇「あやめ」に乗船。関西国際空港の近くまで約60分の体験航海に出発。救命胴着を着て船内の説明を受ける。



### 終了式

参加者全員に終了証が渡されました。海上保安庁が作成した海底地図を見せていただきました。3Dグラスで立体に見ることができてビックリ!



# EVENT...

イ

ブ

ン

ト

## 第13回Eボート交流大会(きららカップ)を開催しました 泉大津港湾振興会

関西国際空港の開港により誕生した、泉大津市なぎさ町の「きららタウン泉大津」を“人と人のふれあいの場”として市民に広くPRするため、「泉大津フェスタ2013」の一部として『Eボート交流大会「きららカップ」』が、今年も7月14日(日)に開催され、約500人が参加し、本振興会も協力いたしました。

当日は天候に恵まれ、午前が子どもの部で15チーム、午後からは大人の部で12チームが参加しました。

開会式後の午前の子どもの部では、予選を2回行い、ベストタイム上位4チームが決勝戦に進みました。予選2位チームの池浦町子供会ソフトボールチームAが、1分55秒64のタイムで接戦を制し、見事に優勝しました。準優勝は、予選4位のなぎさシーガールズで、タイムは1分56秒26でした。3位が予選1位の丸ちゃんとゆかいな仲間達kisで、タイムは1分57秒63、4位は予選3位の戎レッドスコピオンズで、タイムは2分7秒14と健闘しました。

午後からは大人の部が始まり、子どもの部同様予選を2回行い、ベストタイム上位4チームが決勝戦に進みました。決勝戦は、楓子フレンズがスタートから意気の合ったチームワークで他の追従を許さず、1分29秒81で優勝しました。準優勝は、予選4位のひつじチームで、タイムは1分45秒59でした。3位が丸ちゃんとゆかいな仲間達part1で、タイムは1分48秒19、4位はバカぼんずで、タイムは2分2秒88と健闘しました。

本振興会は今後も、各団体と連携し、市民が海や港に親しむ機会をつくり、海への理解を一層深めるとともに、堺泉北港の振興を通じ各企業の発展に努めて参りますので、皆様のご協力をお願いします。



昨年、第60回という一つの区切りを迎えた「岸和田港まつり」。今年度また新たな一步を踏み出すべく、7月27日(土)に花火大会を開催しました。

例年花火の観覧場として利用していた土地が、今年度はケーゾンの作製ヤード<sup>※</sup>として使用されていましたが、工事の発注主である近畿地方整備局大阪空港・港湾事務所様のご厚意で、特別に借用させていただくことができました。岸和田港まつりが長年にわたって継続してこられたのは、このような関係者の方々の有形・無形の協力があればこそと、改めて感じたところでございます。

さて、今年の花火大会ですが、まず日が沈む前に堺海上保安署所属の巡視艇「みのお」が、消火放水の実演を披露してくださり、港まつりに花を添えてくださいました。そして、午後8時から約1500発の趣向をこらした花火が打ち上げられました。途中短時間ですが、やや強い雨が降るなど少し残念な一幕もありましたが、それでも少なからぬ方々は、最後のワイドスターマインまで見届けて、歓声を上げられています。

近年泉州地域でも、花火の打ち上げが行われることが多くなってきましたが、当協会といたしましては、他大会の良いところを参考にしつつ、安全第一の大会運営に努めてまいりたいと考えております。また港と海への関心を高め、港湾の振興を図ることで、多くの方に港や海の素晴らしさを伝えていきたいと考えております。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

※防波堤などの水中構造物として使用され、あるいは地下構造物を構築する際に用いられる  
コンクリート製又は鋼製の大型の箱



## 堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました 堺市文化観光局観光部観光推進課

平成25年7月31日(水)、堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が堺市堺区の大浜公園で開催され、猛暑の中、家族連れなど約23万人(主催者発表)がご来場いただきました。

堺大魚夜市は約700年前、泉州周辺地域の漁師が「航海の神」「漁業の神」として信仰していた住吉大社(大阪市住吉区)に航海の安全と豊漁を祈念し魚を奉納した際、同時に新鮮な魚を売り始めたのが起源といわれ、毎年7月31日に開催されています。

主催の堺大魚夜市実行委員会では、今年度も昨年度に引き続き「がんばろう日本!堺から元気!」をテーマとして、被災地の一日も早い復興を祈念するとともに、堺から全国に向け「元気」を発信したいとの思いを込め実施しました。

開会セレモニー直後の19時に、堺まつりのキャラクター「ザビエコくん」と子どもたちによる元気のいい合図とともに、メインイベントである「魚セリ」がスタート。今年は21団体が参加し、会場にズラリと並んだセリ台からは「安いで、買うてや!」と威勢のいい掛け声が飛び交い、タイやタコ、サザエ、カニなどの新鮮な海産物があっという間に売り切れました。

その後、堺旧港では、今年も恒例の「花火大会」が開催され、色とりどりの花火が、歴史ある堺旧港の夜空を鮮やかに彩りました。

また、今年の夜市では、「グルメだよ 全員集合!」と題して、10店舗以上の食のブースや堺高石青年会議所による「ベトナムズカフェナイト」などが出店されました。その他にも、夜市ではすっかりお馴染みとなりました「ゆかたまつり」や、地元企業・団体等による「PRブース」など、来場者の皆さんも楽しめる催しが繰り広げられ、会場は、熱気と興奮に包まれながら、夜遅くまで大勢の方で賑わっていました。



## WELCOME!世界からのお客様

## 大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

■平成25年8月20日(火) 大阪府営港湾視察

ベトナム視察団

BinhSon市公安副署長&DQEZ公安署長 Mr.Duong Van A

DQEZ管理委員会 財政計画室長 Mr.Pham Minh TUAN ほか2名

この度、ベトナムより視察団が来日され、大阪港と併せて府営港湾を視察されました。

府港湾局において府営港湾の紹介を受けた後、堺泉北港を代表する貨物であるLNG(液化天然ガス)を取り扱う、大阪ガス株式会社泉北製造所第二工場を視察されました。

視察団より、府営港湾の概要や、LNGの取り扱い等に関することについて、積極的な質疑がなされ、活発な意見交換が行われました。



# ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

大阪府港湾局では、府営港湾に初めて入港する船舶に対し、大阪府港湾協会や地元市港湾振興会と協力して初入港の歓迎セレモニーや初入港記念楯の贈呈を行っています。

## WOODSIDE ROGERS (103,928総トン)

平成25年8月7日(水)

堺泉北港 堺LNGセンター LNG栈橋

LNG専用船



# INFORMATION

## 創立50周年記念 第64回理事会・平成25年度通常総会

平成25年8月1日(木) ホテル・アゴーラ リージェンシー堺において、大阪府港湾協会 創立50周年記念 第64回理事会及び通常総会を下記のとおり開催いたしました。

また、創立50周年記念事業として、記念講演の開催、「大阪府のみなど」記念号の発刊、記念品の配布を実施いたしました。

1. 開会挨拶 金盛 弥会長
2. 来賓祝辞 近畿地方整備局副局長 田邊 俊郎 様  
近畿運輸局次長 北村 不二夫 様  
大阪海上保安監部長 川名 一徳 様  
大阪税関長(代理:堺税関支署長 中谷 郁夫) 様  
大阪府港湾局長 井上 博睦 様
3. 来賓紹介・祝電披露
4. 議 事 (議長:山部 雅春 山九株式会社泉北支店長)  
第1号議案:平成24年度事業報告並びに収支決算報告について  
第2号議案:平成25年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

以上、第1号及び第2号議案について各々審議を行い、原案どおり可決承認されました。

その他:報告事項



5. 記念講演 「今、日本が直面する内外の課題」 ジャーナリスト 櫻井 よしこ 様

記念講演には、およそ200名もの方にご参加いただきました。90分間の講演中、皆さん櫻井様のお話に終始熱心に耳を傾けておられました。



## 大阪府知事・大阪府港湾局長感謝状贈呈式

と き: 平成25年8月1日(木)

ところ: ホテル・アゴーラ リージェンシー堺 4階 ロイヤルホール1

主 催: 大阪府港湾局

「港湾の振興」、「海岸及び港湾の愛護」に功績のあった方々に対して、感謝状の贈呈が行われました。

また、感謝状を受けられた方々に金盛大阪府港湾協会会長より記念楯が贈られました。



### 【大阪府知事感謝状】

アドプト・シーサイド・フクシマ 阪南市立尾崎中学校 様

平成10年から阪南市福島海岸におきまして、8月の登校日に海岸清掃のボランティア活動を実施してこられ、平成15年には、大阪府が実施している「アドプト・シーサイドプログラム」に府下ではじめてご参加いただき、平成19年には大阪府港湾局長感謝状が贈呈されております。その贈呈後も福島海岸清掃による美化活動や尾崎漁業協同組合青年部との連携による稚魚の放流などを通じて、福島海岸の保全に貢献していただいております。

### 【大阪府港湾局長感謝状】

港緑振興会 様

岸和田カンカンベイエリアの活性化を目指し、社会貢献活動の一環として、平成18年より地元の小学生を対象とした社会見学イベント『カンカンキッズ』を毎年実施されており、地域の港湾や周辺施設の啓蒙に大きく寄与していただいております。

要薬品株式会社 様

堺市臨海部の産業廃棄物埋立処分場跡地にあります「共生の森」において、植樹イベントにご参加いただき、継続的に緑化活動をご支援いただくなど、大阪湾の環境改善に資する森づくりに、貢献していただいております。

アドプト・シーサイド・脇浜 海守OSAKA 様

平成22年に「アドプト・シーサイドプログラム」にご参加いただき、貝塚市脇浜海岸の一定区間において、年に4～5回海岸清掃活動を実施され、収集ゴミのモニタリング調査なども行われています。また貝塚市二色の浜海岸の清掃を定期的にも実施され、海岸・港湾の環境保全に大きく寄与していただいております。

## 運営委員会

---

<平成25年度 第2回>

日時：平成25年9月27日(金) 午前10時～

場所：堺泉北港ポートサービスセンタービル 2階 201・202号室

議事：(1)平成25年度在阪国家機関等に対する要望について

(2)港湾人材育成セミナーの実施について

(3)その他報告事項

・横浜港視察について

## 平成25年度港湾視察 ～横浜港～

港湾視察事業は、会員の皆様に他港湾の取り組みや港湾施設の実態などを視察していただき、日常の業務に役立てていただくことを目的として実施しています。

今年度は、平成25年9月2日(月)～3日(火)に、28名(事務局含む)のご参加をいただき、神奈川県「横浜港」の視察を実施しました。

### 【視察行程】

#### 第1日目(9月2日)

#### 横浜港流通センター

- 挨拶: (株)横浜港国際流通センター 北村総務部長  
大阪府港湾協会 金盛会長



横浜港流通センターパンフレットより

- 横浜港流通センター概要説明(説明者:権田総務課長)・紹介ビデオの視聴
- ・横浜港流通センター(Y-CC)は平成8年に開業した、延床面積32万㎡を誇るわが国最大級の総合物流施設である。
  - ・当社は横浜市をはじめとする官民の共同出資により設立された第三セクター。
  - ・社員は13名だが、1000名規模の人がこの物流施設を利用している。
  - ・物流棟(55区画)、事務所棟(70区画)の稼働率はリーマンショックで一時下がったものの、営業努力をした結果、現在物流棟では稼働率100%、事務所棟では90%の稼働率を保持しており、安定的な経営状況といえる。

○現場視察

- ・物流棟5階の様子・屋上駐車場を見学



横浜港流通センター概要説明



横浜港流通センター屋上駐車場

#### 南本牧コンテナターミナル

- 挨拶: 横浜市港湾局 伊東副局長  
大阪府港湾協会 金盛会長

○横浜港概要説明(説明者:厨川企画調整課長・藤川港湾経営課長)

- ・横浜港のコンテナ取扱量は平成20年をピークに減少している。
- ・横浜港の入港隻数を見ると、隻数は減っているが総トン数は増えている。これは船の大型化が進んでいるといえる。
- ・コンテナ船の大型化が進んでおり、南本牧ふ頭では水深-16m岸壁や、22列対応型メガ・ガントリークレーンを有している。
- ・現在は国内最大の水深-20m岸壁を有する新たなコンテナターミナル(MC-3)を整備中であり、今年度中の利用開始を目指している。

○南本牧ふ頭コンテナターミナル管理棟5階よりコンテナターミナルを見学



南本牧ふ頭

横浜港埠頭株HPより



横浜港概要説明



南本牧コンテナターミナル

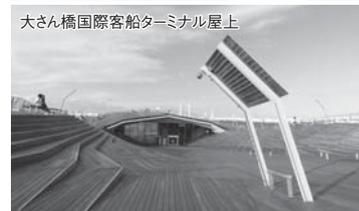
## 大さん橋国際客船ターミナル

- 挨拶: 横浜市港湾局 江上賑わい振興課客船誘致等担当課長
- 大さん橋国際客船ターミナルの概要説明(説明者:高橋賑わい振興担当係長)
  - ・ターミナルは10年前に全面的な施設の改修がされ、景観を重視して柱のない建物となっている。
  - ・多い時には客船は、4船同時着岸が可能。ターミナル棟が高いと船がみえにくいので、ターミナル棟は低くし、遠くからでも止まっている客船が見えるようにした。
  - ・市民の方に来てもらえるように一般開放し、建物の屋上は芝生とウッドデッキでできている。
  - ・客船寄港について、2012年は142隻で、ここ10年連続日本一である。
- 大さん橋国際客船ターミナル内の見学

## 第2日目(9月3日)

### 一般社団法人 横浜港振興協会

- 挨拶: 一般社団法人横浜港振興協会 北田専務理事  
大阪府港湾協会 金盛会長
- 横浜港振興協会概要説明(説明者:藤平事務局長)
  - ・当協会は今年7月で創立60周年を迎えた。
  - ・陸と市民を繋げる役割を担う団体で、10人余りで事業を実施している。
  - ・市民により港をよく知ってもらうことを目的に昨年からは港湾見学会を実施している。
  - ・クリアファイルやピンバッジなどの横浜港に関するグッズ、刊行物の販売を行い、広くPRに努めている。
- 船上見学
  - ・横浜港振興協会が事業として実施している、マリンシャトル船での見学会に参加
  - ・1時間の横浜港内船上見学



横浜港シンボルマーク  
横浜市HPより

